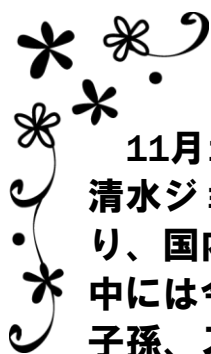


* ジョン万ニュース *



令和4年11月 第8回土佐清水ジョン万祭り を開催しました!



11月12日（土）、土佐清水市養老ジョン万次郎群像前にて、第8回土佐清水ジョン万祭りの式典が行われました。コロナ禍以降初めての開催となり、国内外から万次郎とつながりを持つ方々を4年ぶりに本市へお招きし、中には今回初訪問となった、万次郎を助けたホイットフィールド船長の御子孫、スコット・ホイットフィールド氏にも御出席をいただきました。





式典ではこどもたちの活力あるあしずり太鼓から始まり、土佐清水市長の式辞、ホイットフィールド万次郎友好協会会長のジェラルド・ルーニー氏と妻である文子・ルーニー氏、万次郎の御子孫の中濱京氏、駐大阪・神戸米国総領事館領事のジェームズ・ハサウェイ氏らに祝辞をいただきました。

また、記念品贈呈では、ルーニー会長から本市友好協会へ歴史あるヴィンテージのキルトを、米海軍ペリー提督の御子孫であるマシュー・ペリー氏から、本市へ米連邦議会議事堂に掲揚された星条旗を、それぞれ友好の証として寄贈いただきました。

万次郎の功績を改めて讃え、今のような時代の中でも今後より一層の姉妹都市交流を深めていく新たなスタートとなる催しとなりました。

ジョン万サミット



12日（土）午後には高知市の土佐ジョン万会主催による「第9回ジョン万サミットin土佐清水市」が開催されました。ジョン万次郎に関わる活動をされている8組の方々から報告が行われ、本市からは高知県立清水高等学校の生徒や、ウェルカムジョン万の会の田中会長らが発表を行い、それぞれに思いを語られていました。

また、セーボレー孝氏による「入植者の子孫が語る小笠原の歴史」についての講演が行われ、参加者の交流が深まった貴重な時間となりました。



ミュージカル「ジョンマイラブ」

11月13日（日）と14日（月）、学校総見も含め全4回、市民文化会館でジョン万次郎を題材としたミュージカル、「ジョンマイラブ—ジョン万次郎と鉄の7年—」の公演が行われ、延べ1,400人以上が舞台を鑑賞しました。

本ミュージカルは万次郎の妻「鉄」が、万次郎と出会い死ぬまでに過ごした日々をもとに脚本がつけられており、生まれたときの性別や身分にとらわれず、自分らしく生きていくことについてなど、強いメッセージ性を持ったセリフが多く、舞台俳優の皆さんの演技や歌声、衣装や舞台セットなど、あらゆるところで引き込まれる内容のものでした。



ミュージカル感想紹介

迫力やよさが伝わってきました。(10代以下)

漂流ダンスたのしかったです！土佐清水でこの公演がみられてよかった。(20代)

ジョン万について改めて勉強したいと思いました。(30代)

大変良かったです。ストーリーもよくジョン万のことが分かりました。あっという間の2時間でした。(40代)

本物の舞台を見る機会がなかったので、生のすばらしい歌声に感動しました。歴史はあまり興味はなかったが、ジョン万の生き方、考え方はいつの時代にも大切な事だと思う。(50代)

とても良かったです。知らなかった万次郎と鉄の関係、ちがう面からまた興味がわきました。すばらしい舞台を無料でみられて最高でした。ありがとうございます。(60代)

ミュージカルを初めて見て、とっても良かったです。(70代)

力強くてすばらしい。元気をいただきます。(80代以上)

10/29(土)にハロウィンイベントを開催しました！

中央商店街で仮装パレードやダンスパフォーマンスなどが行われ、約200人の親子たちがイベントを楽しみました。会場はアニメキャラクターや身近な職業、食べ物などに扮した仮装をした親子連れが集まり、ハロウィン特有の賑わいをみせていました。

パレードでは子どもたちが楽しそうに協力店からお菓子を受け取っており、イベントは盛況のうちに終了しました。

